



### 3. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは必ず胸、背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部だけでよい。別ビブスを使用する場合は招集場で受け取り、ゴール後は直ちにフィニッシュ地点で係に返却すること。
- ②写真判定にともなう腰ナンバーカード標識は、右側後方につけること。

### 4. 競技の抽選および番組編成について

- ①予選におけるレーン順および競技順はプログラム記載の順序とする。なお準決勝、決勝の組み合わせ（レーン順、試技順）は全て番組編成員が行う。
- ②タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。プラスの人数を超える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。ただし、オープンレーンの競技（800mは除く）の同記録者は、全員次のラウンドに進出できる。シードグループの決定で同記録者が出た場合もプラスの決定方法に準ずる。
- ③200m、400m、800mは予選タイム9～16番の8名でB決勝を行う。リレー種目については、予選タイム9～16番の8チームでB決勝を行う。

### 5. 競技について

- ①競技者に対する助力については、TR.6に準ずる。
- ②次の種目について、下記のタイムを超えて周回を残している場合、競技運営上フィニッシュ地点で競技を中止させるので、審判員の指示に従うこと。  
(男子) 5000m 18分 5000mW 30分 (女子) 3000m 12分 5000mW 33分
- ③男子5000mに出場のチームについては、出場1名につき、1名の周回補助員をつけること。周回補助員は、競技開始10分前には、フィニッシュ付近に集合しておくこと。
- ④計測記録については下記のとおりとする。

男子	計測記録	女子	計測記録
走幅跳	なし	走幅跳	なし
砲丸投	10m00	砲丸投	6m00
円盤投	27m00	円盤投	15m00
ハンマー投	25m00	やり投	20m00
やり投	40m00		

- ⑤三段跳の踏切板は、砂場から男子12m00、女子9m00の地点に設置する。
- ⑥男子棒高跳に出場する競技者は、女子の棒高跳競技終了後から招集開始時刻までの間、棒高跳ピットを使用して練習することができる。

### 6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

	練習	練習	バーの上げ方	
男子	走高跳	1m55、1m80	1m60-65-70-75-78-81-84-87	以降3cm刻み
	棒高跳	任意の高さ	2m60-80-3m00-10-20-30-40	以降10cm刻み
女子	走高跳	1m25、1m45	1m30-35-40-45-48-51-54-57	以降3cm刻み
	棒高跳	任意の高さ	1m80-2m00-10-20-30-40-50-60-70	以降10cm刻み

同記録による1位を決定するバーの上げ下げは走高跳2cm、棒高跳5cmとする

### 7. 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ②やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。
- ③スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）の厚さについては、TR5.5 および TR5.13 に準じて招集で確認する。フィールド競技においては、TR5.5 および TR5.13 の適用を除外する。
- ⑤皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

## 8. 表彰について

- ①男女別総合優勝には優勝杯を授与して表彰する。
- ②男女別総合1位～6位には賞状を授与する。表彰は3位までとする。
- ③男女別トラック・フィールド優勝校に、優勝盾と賞状を授与して表彰する。
- ④各種目1位～3位までの入賞者に賞状を授与して表彰する。成績発表のアナウンスがあったら直ちに玄関ロビーに集合すること。
- ⑤男女最優秀選手1名の表彰をする。
- ⑥大会新記録樹立者を表彰する。
- ⑦男女別総合優勝校の監督に盾を授与して表彰する。

## 9. 練習について

- ①競技場練習の時間帯は下記の通りとする。  
1日目は7:30～8:50、2日目・3日目は7:30～9:15までとする。
- ②競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。競技場備え付けの用具を使用すること。ラダー、ミニハードル、ゴムチューブ等を使用するのスピード練習は禁止する。
- ③投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。
- ④多目的グラウンド競技場側半分とウレタン走路はウォーミングアップで使用することができる。
- ⑤トリムコースおよび道路でのウォーミングアップは一般の通行人の妨げにならないように十分注意して行うこと。

## 10. その他

- ①大会規程、注意事項（申合せ）に反した場合は失格になることがある。アスリートとして、又、高校生としてはすかしくない行動をとり、終始礼節を守り、意気に燃えて競技すること。
- ②各種目の得点は1位8点～8位1点とする。
- ③競技会開催中における怪我については応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ④フィニッシュ付近に立ち寄ったり、本部前を通行することを禁止する。
- ⑤貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に十分注意すること。
- ⑥競技場の清掃に留意すること。ゴミは持ち帰りを基本とする。コンテナが設置されている場合は、使用してもよい。各チームで使用した場所は責任をもって清掃すること。（競技場内のゴミ箱は使用しないこと。）
- ⑦大会で使用した競技場の清掃については、下記の学校（当番校）をお願いします。

正面スタンド	大津・瀬田工	男子更衣室及び男子トイレ	滋賀学園
芝スタンド・競技場外周	安曇川・光泉	女子更衣室及び女子トイレ	守山・守山北
スタンド男子トイレ	比叡山	玄関及び役員室	大津商・綾羽
スタンド女子トイレ	高島・立命館守山	室内練習場	堅田・国際情報